

株主・投資家の皆さまへ

第26期

# 中間事業報告書

平成15年9月期

PROTO DIGITAL CONTENTS

**PROTO**

(株)プロトコーポレーション

(証券コード:4298)



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第26期中間事業報告書(平成15年4月1日～平成15年9月30日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成15年4月1日に代表取締役社長に就任後、「創造と挑戦」をテーマとして掲げ、「新生プロトコーポレーション」の創造に努めてまいりました。社員一人一人に対して、常に変革し続ける事の必要性を浸透させると共に、会社全体としては、変化の激しい時代に即した新たな経営体制の構築を図ってまいりました。

今後におきましても、創業から培ってきた良き伝統・社風は継承しつつ、現時点を「第二の創業期」と捉え、新しいプロトコーポレーションの創造に取り組んでまいります。

さて、我が国の経済状況につきましては、製造業においては、設備投資を中心とした国内民需の増勢により、企業収益に改善傾向がみられる一方、非製造業においては、ポイントとなる個人消費の回復見通しが脆弱であるなど、当社を取り巻く環境は、依然として不透明な状況にあります。このような経営環境の下、当社は、ブランドの確立を重要な経営戦略と位置付け、「PROTOの情報=役に立つ、クオリティが高い、入手しやすい」と認識して頂けるよう、消費者の皆様にとって有益な情報サービスの提



供に努めてまいりました。自動車関連情報分野においては、競合他社を上回る情報量の確保に努めると共に、構築されたデータベースを活用した二次商品の開発・提供にも積極的に取り組んでまいりました。生活関連情報分野においては、より多くの消費者の皆様へ情報をお届けするために、様々なメディアを活用した情報発信に取り組んでまいりました。

今後におきましては、自動車関連情報分野の業容拡大ならびに生活関連情報分野の早期事業確立に取り組むと共に、企業価値の最大化に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜ります様、心からお願い申し上げます。

平成15年11月



代表取締役社長  
入川 達三

# プロトコーポレーションについて

## 当社の事業内容

当社は、『物売る事より 知恵・情報を通じて 人・企業と効果的な結び付きをし 社会に貢献すること』を基本理念に企業経営を進めています。具体的には、商品を手入れしたい「消費者」に、商品を提供したい「クライアント(企業)」から頂いた情報をお届けして、両者を効果的に結び付ける事を事業目的としています。

現在、私達の周りには、多種多様な商品やサービスが存在していますが、その中から「自分の予算にあった、本当に欲しい商品やサービス」を選ぶのは、大変な労力と時間を必要とするのではないかと思います。例えば、株主の皆様が「クルマが欲しい。」と思った場合には、どうされるでしょうか?何も情報が無い場合には、数軒のお店に自ら足を運んで、欲しいクルマを探されるのではないかと思います。しかし、「あのお店に、欲

しいクルマが、いくらで売っている」という情報を事前に知る事ができれば、探し回る時間と手間を大きく省けると共に、様々な情報を比較・検討する事ができます。当社は、こうして消費者とクライアントの皆様を結び付ける事で、真に社会から必要とされる企業になりたいと考えています。

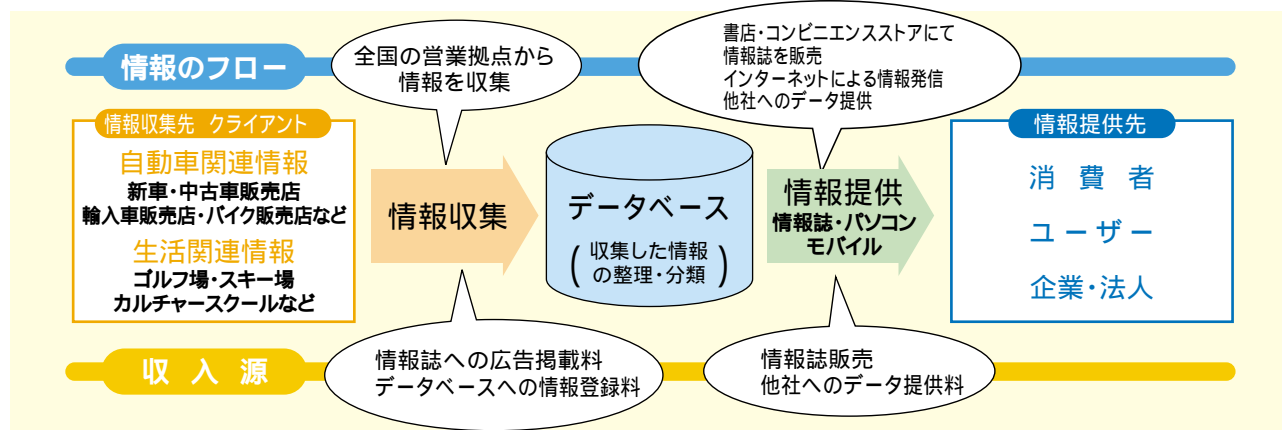
また、消費者・クライアントの皆様から支持される情報であるためには、「情報量」・「スピード」・「クオリティ」・「入手性」という4つの要素が重要であると考えています。これらの要素を満たすために、当社は、全国に展開した営業拠点から情報をいち早く収集し、整理・分類する事で検索性を高めると共に、消費者の皆様が入手しやすいよう、様々なメディアを通じて発信しています。



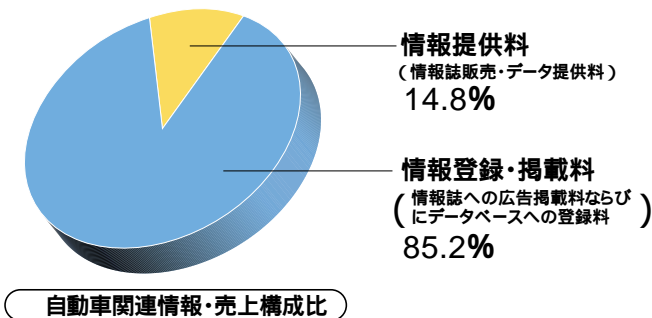
当社の事業内容について、もう少し具体的な事例でご説明します。

- ① 情報をどこから収集するか? …… 自動車関連情報 / 自動車メーカー、メーカー系ディーラーならびに中古車販売店など。  
(情報収集先(クライアント)) 生活関連情報 / カルチャースクール、ゴルフ場、スキー場など。
- ② 情報をどうやって収集するか? …… 当社社員がクライアントを訪問し、取材を行います。  
自動車関連情報 / 販売店に並んでいる車の車種・価格・年式など。  
生活関連情報 / カルチャースクールで開講されている講座内容・費用など。
- ③ 情報の発信先は?(情報提供先) …… 消費者・ユーザーならびに企業・法人。
- ④ 情報をどうやって発信(提供)しているか? 消費者・ユーザー向けには、書店・コンビニエンスストアで情報誌の販売ならびにインターネット(パソコン・モバイル)による情報発信を行い、企業・法人向けには、データ提供も行っています。

上記をまとめると、下記図のようになります。



また、当社の主な売上高(収入源)は、「情報登録・掲載料」と「情報提供料」の2つです。このうち大半を「情報登録・掲載料」が占めており、自動車関連情報においては、売上高の85.2%を占めています。



# 自動車関連情報

自動車関連情報は、消費者・ユーザー向けと企業・法人向けに情報サービスの提供を行っています。

## 1 消費者・ユーザー向けの情報提供

### クルマ情報

国内トップクラスの情報量を誇るクルマ情報誌『GOO』は、地域・業界NO.1を目指して、全国10エリアで発売しています。また、クルマ情報サイト『Goo-net』でも新車、中古車、保険等の情報を提供しており、リアルタイム性や検索性を追求してきた結果、月間9,000万ページビュー(平成15年9月現在)を越えるサイトになりました。



▲クルマ情報サイト『Goo-net』  
(<http://goo-net.com/>)



▲クルマ情報誌『GOO』



▲輸入車情報サイト『GooWORLD.jp』  
(<http://gooworld.jp/>)



▲輸入車情報誌『GooWORLD』

### 輸入車情報

中古輸入車物件の紹介をはじめ、各輸入車の特徴、旬の買い得モデルなど、様々な情報を満載した情報誌『GooWORLD』を、北海道・東北、関東、東海、関西、中国・九州の5エリアで発売しています。また、輸入車情報サイト『GooWORLD.jp』でも、輸入車情報を検索できる様になっています。

### バイク情報

中古バイク物件の紹介をはじめ、新車紹介、メンテナンス情報など、様々な情報を満載した情報誌『GooBike』を、関東、東海、関西、九州の4エリアで発売しています。また、バイク総合サイト『GooBike.com』でも、バイク情報を検索できる様になっています。



▲バイク総合サイト『GooBike.com』  
(<http://goobike.com/>)



▲バイク情報誌『GooBike』

## パーツ情報

中古パーツから、アウトレット、デッドストックなど、全国のパーツ情報を満載した情報誌『GooParts』を発売しています。また、パーツ情報総合サイト『GooParts.com』でも、パーツ情報を検索できる様になっています。



▲ パーツ情報総合サイト『GooParts.com』  
(<http://gooparts.com/>)



▲ クルマパーツ情報誌『GooParts』

## 2 企業・法人向けの情報提供

### 中古車落札価格情報

中古車落札価格情報とは、全国のオートオークション会場における中古車の売買価格情報です。全国のオートオークション会場から収集し、車種別・年式別等に整理して、『週刊オークション情報』というデータブックにて提供しています。また、中古車データ検索システム『データライン』は、中古車落札価格情報の他に、中古車小売価格情報なども併せて提供可能な、インターネットを活用した商品です。これらの商品は、中古車販売店にとって、中古車の仕入、販売等において無くてはならないものとなっています。



▲ 中古車データ検索システム『データライン』



▲ 『週刊オークション情報』



▲ 中古車基準価格ガイド『ブルーブック』

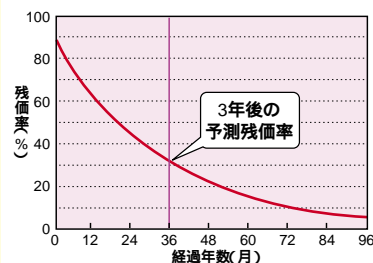
### データベースを活用した『残価予測システム』などのオリジナル商品

『中古車基準価格ガイド ブルーブック』は、中古車落札価格情報を分析し、車種・年式・色等の条件別に算出した指標価格を掲載しており、主に中古車の下取り査定等に活用されています。また、中古車基準価格データは、自動車メーカー向けに、独自の仕様・要求に基づいて加工したデータも提供しています。更に、自動車の将来価値の予測を可能にした『残価予測システム』や、相場実勢にそった中古車価格を自動算出する『自動車査定システム』など、データベースを活用した様々な商品を提供しています。

#### 残価予測システムとは？

残価とは、リース物件などの将来の中古価格です。例えば、100万円で買った新車が、3年後には60万円の価値になったと仮定しますと、この60万円という価格が残価になります。当社は、情報量の豊富なデータベースを活用して、従来の算出方法よりも、高い精度で残価を予測する商品を開発しました。今後、自動車の個人リースが普及するに伴い、成長が期待される商品です。

#### 残価率算出モデルグラフ



# 生活関連情報

当社は、『Vee』シリーズの第1弾として、資格・スキル・趣味といった生涯学習に関するレッスン情報を、消費者の皆様の利便性ならびにクライアントの皆様の広告効果の最大化を図るため、様々なメディアを活用して発信しています。

## 情報誌『Vee School』

学校のカテゴリ・沿線別の情報に加え、エリア別の特集などを掲載し、首都圏・東海・関西の3エリアにおいて、書店・コンビニエンスストアで発売しています。

## 無料情報誌『ポケットVee School』

情報誌『Vee School』の認知度向上を図ると共に、より多くの消費者の皆様にレッスン情報をお届けするために、情報誌の特集ページを転用した無料情報誌(フリーペーパー)を、地下鉄駅構内に設置されたラックや街頭で配布しています。

## インターネットサイト『VeeSchool.com』

サイト上で、「英会話」「パソコン」といった様々なジャンル別の講座検索や、資料請求を行う事ができます。また、現役スクール生の生の声や、様々な資格を詳しく紹介する「おけいこ特集」、スクールに関する「体験談」など、スクール選びの参考になる情報も掲載しています。

## レッスン情報発信ステーション『CLUB Vee』

『CLUB Vee』には、情報誌『Vee School』に掲載される各レッスンの最新情報や、常時100種類以上のパンフレットが並び、資料を閲覧したり、スタッフに相談したり、気軽にスクールについての情報が入手できるようになっています。平成15年9月現在、東海エリアに「名駅店」「栄店」、関西エリアに「難波店」を展開しています。



▲レッスン情報誌『Vee School』



▲レッスン情報サイト『VeeSchool.com』  
(<http://www.veeschool.com/>)



▲『ポケットVee School』



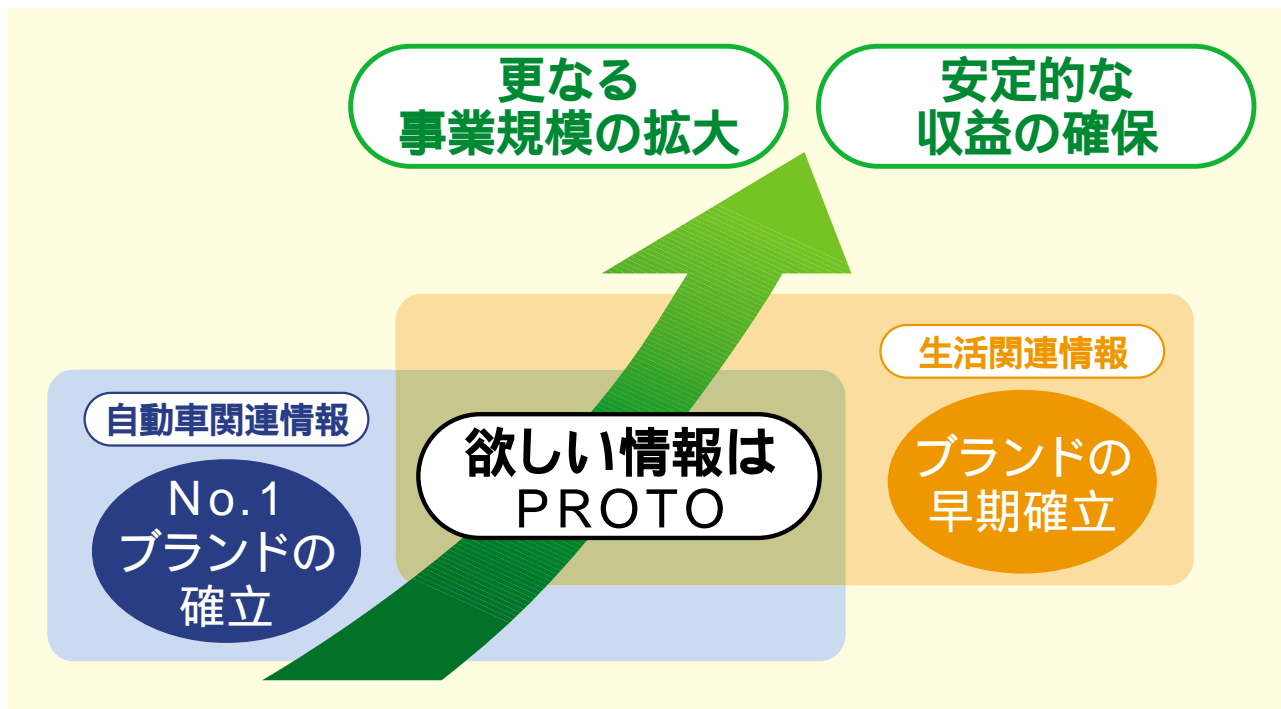
▲地下鉄駅構内のラック



▲『CLUB Vee』



# 当社の経営戦略



自動車関連ならびに生活関連情報の拡充を図る事で、将来的には「欲しい情報はPROTO」と、消費者・クライアントの皆様にご認識して頂ける企業を目指します。

## 自動車関連情報

当社は、消費者・クライアントの皆様から高い信頼性と安心感を獲得した『GOO』ブランドを活用して、『GOO』シリーズを展開してきました。今後も、各商品において、消費者・クライアントの皆様のご利便性を追及すると共に、地域・業界NO.1の情報量の確保に努め、男性向けの『GOO』ブランドの更なる強化を図ります。

データベース化された大量の情報を分析・加工し、付加価値の高い当社独自の新商品を開発・販売する事により、更なる業容拡大を目指します。

## 生活関連情報

今後、拡大基調にある生活関連分野の新市場を開拓し、主に20～30代の女性を対象とした『Vee』ブランドの早期確立を図る事により、自動車関連情報に次ぐ収益の柱に育成します。

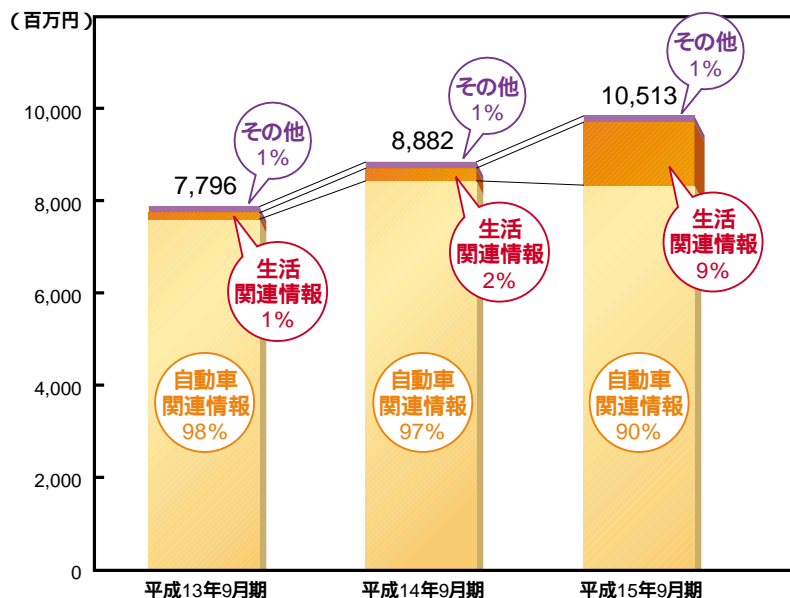
# 当中間連結会計期間の営業概況

## 売上高について

自動車関連情報においては、前期中に創刊しました輸入車情報誌『GooWORLD北海道・東北版』(平成14年7月創刊)ならびに株式会社リペアテック出版(平成14年10月100%子会社化)の売上高が寄与した事などにより、**94億1千2百万円(前期比9.3%増)**となりました。

生活関連情報においては、前期中に創刊しましたレッスン情報誌『Vee School』の首都圏版(平成15年1月創刊)、東海版(平成14年8月創刊)、関西版(平成15年1月創刊)の売上高が寄与した事などにより、**9億8千2百万円(前期比505.1%増)**となりました。この結果、不動産・その他事業を併せた当社グループの売上高は、**105億1千3百万円(前期比18.4%増)**と、前期と比較して16億3千万円の増収となりました。

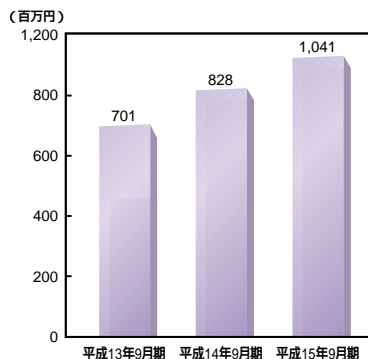
## セグメント別売上高推移



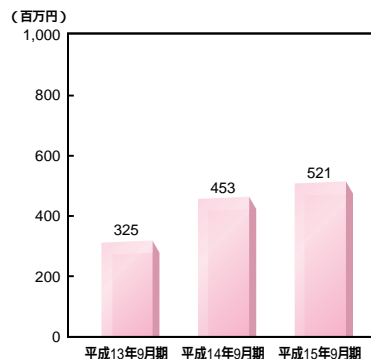
## 利益について

経常利益については、自動車関連情報ならびに生活関連情報において売上高が大きく伸びた事と、仕入コストの低減に努めた結果、売上高原価率が前年同期比1.2ポイント低減できた事により、**10億4千1百万円(前期比25.8%増)**となり、前年同期と比較して2億1千万円の増益となりました。また、当期純利益についても、**5億2千1百万円(前期比14.9%増)**と、前期と比較して6千万円の増益となりました。

## 経常利益



## 当期純利益



# 連結・単体財務諸表

## 損益計算書(連結・単体)

科目	連 結		単 体	
	前中間連結会計期間 (H14.4.1 ~ H14.9.30)	当中間連結会計期間 (H15.4.1 ~ H15.9.30)	前中間会計期間 (H14.4.1 ~ H14.9.30)	当中間会計期間 (H15.4.1 ~ H15.9.30)
売上高(百万円)	8,882	10,513	8,766	9,923
営業利益(百万円)	832	1,087	762	1,018
経常利益(百万円)	828	1,041	800	1,000
当期純利益(百万円)	453	521	435	498
1株当り中間(当期)純利益(円)	52.03	59.82	49.88	57.19

### ポイント

売上高(連結)の増加要因  
主に、当社において、前期中に創刊した媒体の売上高が通期寄与した事と、平成14年10月に100%子会社化した株式会社リペアテック出版の売上高が通期寄与した事によるものです。

## 貸借対照表(連結・単体)

科目	連 結		単 体	
	前中間連結会計期間末 (H14.9.30 現在)	当中間連結会計期間末 (H15.9.30 現在)	前中間会計期間末 (H14.9.30 現在)	当中間会計期間末 (H15.9.30 現在)
流動資産(百万円)	7,460	7,470	6,001	5,188
固定資産(百万円)	5,953	7,934	5,846	6,806
流動負債(百万円)	5,236	5,960	4,206	3,939
固定負債(百万円)	696	1,383	271	217
少数株主持分(百万円)	56	89	-	-
純資産(百万円)	7,423	7,972	7,369	7,838
総資産(百万円)	13,414	15,405	11,848	11,994
1株当り純資産(円)	851.01	914.25	844.80	898.89
株主資本比率(%)	55.3	51.7	62.2	65.3

### ポイント

連結において、資産・負債が増加した主な要因は、平成14年10月に株式会社リペアテック出版を100%子会社化した事によるものです。

## キャッシュ・フロー計算書(連結)

科目	前中間連結会計期間 (H14.4.1 ~ H14.9.30)	当中間連結会計期間 (H15.4.1 ~ H15.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	188	1,441
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	649	432
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	142	156
現金及び現金同等物に係る換算差額(百万円)	-	-
現金及び現金同等物の増加額(百万円)	319	852
現金及び現金同等物の期首残高(百万円)	4,842	3,163
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	4,523	4,016

### ポイント

営業活動によるキャッシュ・フローが増加した主な要因は、税金等調整前当期純利益が増加した事によるものです。

## 株主MEMO

- ・決算期 毎年3月31日
  - ・定時株主総会 毎年6月
  - ・利益配当金受領株主確定日 毎年3月31日
  - ・中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
  - ・1単元の株式数 1,000株
  - ・上場市場 ジャスダック市場
  - ・名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号  
UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 (03) 6683-5111(代)
  - ・同事務取扱所 (お問い合わせ先) UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店
  - ・同取次所 日本経済新聞
  - ・公告掲載新聞
- 当社は、決算公告に代えて貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (<http://www.proto-g.co.jp/IR/library.html>) に掲載しております。

株主優待制度について  
毎年3月31日ならびに9月30日現在の株主および実質株主の皆様に対し、全国デパート共通商品券を年2回、以下の基準により進呈します。

商品券進呈基準

所有株式数	商品券金額
1,000株以上	2,000円分
3,000株以上	3,000円分
5,000株以上	5,000円分
10,000株以上	10,000円分

## ホームページのご案内

当社ホームページ内には、投資家の皆様に向けて、「IR情報」というページを設けております。

決算短信、決算説明会資料等を掲載した「IRライブラリー」、当社が発信した最新リリース資料を掲載した「ニュースリリース」など、様々なページをご用意しておりますので、是非一度ご覧いただきたいと思っております。

アドレス <http://www.proto-g.co.jp/>

